

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和4年度（2022年度）第6回（定例会）

署名人 山城達彦

教育長 山城良嗣

開催日時 令和4年（2022年）6月29日（水）

開会 午後2時00分

閉会 午後3時00分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席者

〔教育長・教育委員〕

山城良嗣教育長、本仲範男委員、仲本千佳子委員、二木志保委員、山城達彦委員、

〔事務局職員〕

【生涯学習部】小嶺理部長、稲福喜久二副部長

（総務課）石川泰江課長、稲森恵子副参事、松井都矢子主査、新里隆司主査

【学校教育部】名嘉原安志部長、仲宗根浩副部長

（学校教育課）松原伸一課長、比嘉学副参事、喜屋武直人指導主事、仲村海主任主事

【市民文化部】

（文化財課）大城敦子課長、外間政明副参事、親川さおり副参事

議事日程 ※日程4は非公開。

- 1 議案第7号 那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について【総務課】
- 2 報告1 令和4年度教育行政マネジメント事務事業の指定について【総務課】
- 3 報告2 第3次教育振興基本計画に係る組織目標について（文化財課関係分）【文化財課】
- 4 報告3 県費負担教職員の内申に関する教育長の専決について【学校教育課】

山城教育長 それでは、ハイサイ こんにちは、時間となりましたので、令和4年度第6回教育委員会会議(定例会)を開催いたします。本日は議案が1件、報告が3件となっております。会議録の署名は、山城委員にお願いいたします。

これより審議に入ります。議案第7号「那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について」を議題といたします。生涯学習部 小嶺部長、お願いします。

小嶺部長 議案第7号「那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について」、那覇市教育事務点検評価委員会に別紙のとおり諮問する。提案理由であります、令和3年度事業に係る教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、那覇市教育事務点検評価委員会に諮問するため、この案を提出いたします。内容については、総務課長よりご説明差し上げます。

山城教育長 総務課 石川課長、お願いいたします。

石川課長 議案の2枚目、諮問文をご覧ください。那覇市教育事務点検評価委員会委員長 我那覇 生治様宛に諮問をさせていただきます。教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について。那覇市教育事務点検評価の実施に関する規則第3条及び那覇市教育事務点検評価委員会規則第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。諮問事項としまして、令和3年度事業に係る教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価となっております。対象事業は1から15までの事業となっており、その詳細が次の資料1に掲載しております。この教育事務点検評価の根拠法としまして、お手元の資料2の1ページにございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第26条、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等、こちらを根拠に事務点検評価を実施いたします。

資料1にお戻りください。1番「就学援助医療費事務の移行」学務課の「達成」から、15番「申請書等の押印見直しについて」総務課の「概ね達成」までございます。その詳細につきましては、担当から説明させていただきます。

山城教育長 お願いします。

松井主査 よろしくをお願いいたします。資料2の1ページをお願いいたします。3番「対象事務事業の抽出、決定」を先に説明させていただきます。

今年度から対象事務事業の抽出方法を変更致しました。昨年度までは、各課が主要事務事業から点検を希望する事業を挙げ、それをもとに、那覇市教育振興基本計画の体系区分に応じて、選定しておりましたけれども、今年度からは、那覇市教育行政マネジメントシステム事務事業から那覇市教育振興基本計画の体系区分に応じて、各課1事業以上を選定いたしました。その選定した事業に、昨年度、事務点検の評価で「今後の展開」が「改善」であった1事業を加えて、合計15事業を事務局案としております。

4番「評価の方法」について、ご説明いたします。各課で作成した事務事業点検評

価シートをもとに、所管部長による内部評価を行いました。そのシート及び各課ヒアリングに基づき、那覇市教育事務点検評価委員会による外部評価を行います。評価に当たっては、「妥当性」、「効率性」、「有効性」の3つの観点から評価を行います。

5番「議会報告及び公表」について、ご説明いたします。点検評価委員会からの答申をもとに、教育委員会で報告書を作成し、議会へ提出するとともに、ホームページで公表します。

6番「事務事業の流れ」について、ご説明いたします。①「事業の抽出」についてですけれども、5月11日に第1回教育事務点検評価委員会を開催いたしました。資料2の2ページから8ページまで記載しております、令和3年度に実施した予算事業や主要事務事業等と、資料1の1ページの事務局案を提示し、委員から意見聴取を行ったところ、代替事業や追加事業の意見はなく、事務局案について了承いただいております。その後、②各課で事務事業評価シートを作成し、内部評価を行いました。今は③那覇市教育事務点検評価委員会へ諮問の前の段階となります。本日、議決いただきましたら、7月4日に諮問を予定しております。その後、ヒアリング及び外部評価を7月から8月にかけて行います。⑤の報告書を作成し、8月下旬に議会への報告とホームページ上での公表を予定しております。

それでは、再び、資料1の1ページ目にお戻りください。内部評価につきましては、総合評価「A達成」は2事業ありました。「B概ね達成」は10事業、「C一部達成」は3事業となっております。「C一部達成」となった12番「那覇市ウォーキング推進事業」と13番「地域学校協働活動推進事業（推進員配置による学校支援）」、14番「放課後子ども教室推進事業」は3事業とも新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の予定通りの事業を実施することが出来なかったため、総合評価が「一部達成」となっております。以上の15事業を那覇市教育事務点検評価委員会へ諮問したいと考えております。

続いてシートの変更点がございますので、こちらの説明をいたします。

山城教育長
新里主査

総務課 新里主査、お願いします。

評価シートの前年度との変更点についてご説明いたします。資料1の1ページ目から始まるマネジメントシート(教育事務点検評価シート)の様式をご覧ください。今回の教育事務点検評価対象事業は、原則、前年度に教育行政マネジメントを実施した事業から選定しております。それにあわせて点検評価の評価シートを教育行政マネジメントのシートと統合しまして、前年度の教育行政マネジメントの評価した内容を考慮して、今回の教育事務点検評価の内部評価を行っております。それにより教育行政マネジメントと教育事務点検評価を連動させて、教育振興基本計画の進捗管理としてPDCAサイクルが、より効果的に図られることを目的に、今回、変更しております。評価シートの項目を、追加した箇所については、1ページ目の真ん中の3番「年度目標

設定」の、①「課題・問題点」、②「年度目標」や2ページ目の⑤「実施項目・日程等」、その下の中間評価の欄。そして4ページ目の6「教育事務点検評価 内部評価」の⑥「評価コメント」欄を追加しております。追加した欄は、前年度の教育行政マネジメントのシートから引っ張って来ております。又、この内部評価の④「総合評価」、A「達成」など書いているある欄については、この欄の上の3つの観点の「妥当性」、「効率性」、「有効性」の評価点数の合計から、自動的に判定しております。こちらについては、資料2の12ページの④「総合評価の説明」のとおりとなっております。以上で説明を終わります。

山城教育長 ただいま総務課から説明がございました。この件について、ご質問、ご意見等があれば、よろしくお願いいたします。本仲委員、どうぞ。

本仲委員 今の説明はシート表の様相が、ちょっと違って来ましたよということだけでしたよね。良く見やすくはなっている。特に実施項目の日程などと言うのは、これは分かりやすいなと感じました。大体、この会議が、何月に、どの時期で行われるかと言うことも、資料から分かりやすくなって良いなと思いました。

山城教育長 少し、確認します。まず、この事業は法律に基づく事業である。いわゆる教育委員会が自分で行った事業を、まず自己評価をして、改めて、又、外部の方に、外部評価をしてもらうということになります。今回、資料1の一番表に付いている内部、外部と書かれているものがそれで、これで15項目のうちの内部評価を既に委員会内で実施をしている。これを、評価をする際に使ったシートが1ページ、2ページ、3ページ、4ページまでの、この様式を使って内部評価を既に終えていますと。これを教育事務点検評価委員会に、この項目と、この評価で諮問してよろしいですかというのが、今日の提案になりますね。ちょっと変更があったのは、これまでは、この教育事務点検評価委員会に諮問する項目であったり、内部評価自体は、これに合わせてやっていたのを、今年度からは、既に行っていた教育委員会内の評価を活用して、これを外部評価委員会に外部評価をしてもらうと流れが変わっていますということになります。非常に分かりづらい所がありますが、何か、どうぞ、質問があれば、是非、お願いをいたします。二木委員、どうぞ。

二木委員 中身、一つ一つのことではないですね。

山城教育長 そうですね。勿論、それぞれの15の事業自体についても、何か、あれば、ご質問を出していただいてよろしいかと思います。よろしいでしょうか。今回、ここで承認をいただきましたら、これを事務点検評価委員会に諮問をしまして、そこで、ひと月位掛けるのかな。評価をしていただいたものを評価書という形で、我々のほうに、又、戻って来るというふうなことで、これは、又、教育委員会会議で、ご報告ということになって行く流れになって行きます。それでは議案第7号「那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

山城教育長 異議なしと認めます。議案第7号「那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について」は、議決いたしました。ありがとうございました。

続けて報告に移ります。報告1「令和4年度教育行政マネジメント事務事業の指定について」の説明をお願いします。生涯学習部 小嶺部長、お願いします。

小嶺部長 報告1「令和4年度教育行政マネジメント事務事業の指定について」、令和4年度に実施する教育行政マネジメント事務事業の指定について、別紙のとおり報告する。報告理由ですが、令和4年度教育行政マネジメントを実施する事務事業の指定について、那覇市教育行政マネジメントシステム要項第6条の規定に基づき報告する。内容については、総務課長より説明します。

山城教育長 総務課 石川課長、お願いします。

石川課長 よろしく申し上げます。まず、マネジメントシステムの目的でございます。マネジメントシステムは、第3次那覇市教育振興基本計画に掲げる基本的な取り組みやその他、教育行政に係る重要施策等を適切に進行を管理し、教育行政の円滑な運営と主要事業の成果の向上を図ることを目的に実施するものでございます。具体的には当該年度における特に重要な事業を抽出し、その事業について年度目標等を定め、PDCAサイクルにより進捗管理をおこなっていくシステムでございます。

マネジメントシステムの進捗管理につきましては、教育長マネジメント、部長マネジメント、課長マネジメントの3つの種類で行っております。教育長マネジメントは、教育行政を推進する上で、特に重要な政策課題等及び緊急な政策課題に関する事務事業、部長マネジメントは、部の重要課題に関連する事務事業、課長マネジメントは、課の主要課題に関連する事務事業をマネジメントして行きます。

資料1 ページ目の令和4年度マネジメント所属別集計表をご覧ください。今年度は両部合わせて教育長マネジメントが1件、部長マネジメントが4件、課長マネジメントが14件の合計19件の事業を指定いたします。

今後のスケジュールといたしまして、資料の2 ページ目、横A4の資料をご覧ください。本日の教育委員会会議の報告は、③となっております。その後は、④9月中旬から10月中旬頃に中間評価を行い、⑦1月頃に年間評価を経て、⑨実施結果を3月末の教育委員会会議に報告し、その後、ホームページにて公表する予定でございます。今年度の変更点といたしまして、各課が記入するマネジメントシートの様式を変更して、先ほどの議案にありました、教育事務点検評価の評価シートの形式に合わせて、同じ様式でマネジメントの評価を行うことにしております。そして、今回のマネジメント事業が次年度に実施する教育事務点検評価の対象事業に選ばれた場合は、マネジメントシートの年間評価の内容を教育事務点検評価の内部評価として扱うようにいたします。これによって、マネジメントと教育事務点検評価が連動して、教育振興基本

計画の進捗管理として、PDCAサイクルがより効果的に図られることを目的に、今回、変更をしております。一覧表につきましては、担当から説明させていただきます。

山城教育長 お願いします。

新里主査 資料の3ページ目から10ページにかけてマネジメント一覧表として、今年度、マネジメントを行う事業の目的、内容、年度目標などを載せています。この中で、今年度新規にマネジメント事業に指定した事業の中からいくつかご説明いたします。

まずは、資料の6ページ目をご覧ください。資料の6ページ目、課長マネジメントNo.2「第4次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定」です。こちらの目的・内容は、現在の第3次那覇市子どもの読書活動推進計画の評価を踏まえて、課題となっている事項について、関係部署と対応方策など検討しまして、第4次那覇市子どもの読書活動推進計画を策定する事業となっております。年度目標としては、第4次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定としております。

次に資料の8ページ目をご覧ください。課長マネジメントNo.9「医療的ケア児支援の調査研究について」です。こちらの目的・内容は、令和3年度に医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、学校設置者の責務として在籍する医療的ケア児に対し適切な支援を行う責務を有することになったため、今後の支援体制を整えることを目的として調査研究を進めることとしております。年度目標としては、令和4年度の取り組みとして、先進都市の取り組み体制の調査やガイドライン、マニュアル、リーフレットなどの資料の収集を行い、課題整理を行うこととしております。その他の事業につきましても、ご覧の一覧表のとおり年度目標を設定して事業を進めることにしております。

そして参考資料としまして、資料の最後の11ページに、A4サイズで第3次那覇市教育振興基本計画施策体系表を添付しております。教育振興基本計画の施策に基づく、今年度の主要事務事業を掲載しております。

主要事務事業欄で、下線が引かれている事業が、今回、マネジメントで指定している事業となっております。尚、教育委員会の権限に属する文化財の保護に関するところにつきましては、文化財課で執行しております。市長部局において実施している組織目標管理の方で進捗管理をしていますので、こちらにつきましては、後程、報告2のほうで、文化財課から説明させていただく予定となっております。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

山城教育長 ただいま総務課から説明がありました。この件について、ご質問、ご意見等があれば、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。仲本委員、よろしくお願いいたします。

仲本委員 医療的ケア児の、支援の調査研究についてという項目を見ると、今年度は先進例の調査など課題整理を行うと書いてありますが、これは、何か、そういう諮問委員会にあげてとか。進め方は、どんな感じで進めて行くのでしょうか。職員の中で進めて行

くんでしょうか。それとも外部者を入れてやるのでしょうか。

山城教育長 総務課、ございますか。

石川課長 提出されたシートから読み取ると、今年度は中核市の調査、先進都市の調査、課題の整理ということで、まだ、それを立ち上げるための資料を集めているという段階になるのかなと思われます。

山城教育長 仲本委員、どうぞ。

仲本委員 では、まだ、外部の人も入れて、意見を聞きながら練り上げていく段階ではなく、ほんとにもう準備段階ということですね。

山城教育長 よろしいでしょうか。ゆくゆくは、看護師の配置も含めて、その方向で目指して行くということですね。どうぞ。

仲本委員 こういう都市部は、本当に、前もちょっと話しましたが、看護ステーションなんか、沢山、社会資源としてあるので、その活用と言うのが、どこの中学校区、小学校区もあるはずなので。実際コロナで、こういう看護ステーションが、県の行政と組んで、県の委託で、コロナ対応に入っていくということも、実際、そういうのも事務としては経験しているので、どこの看護ステーションも。行政とこういう取り決めするというのは、できる看護ステーションは多いんじゃないかなとは思いますがね。実際に、市の職員としてナースを抱え込むかどうかということですよ。常に対象者が居るわけじゃないので、凄く、こう少ないので対象が。又、小学校に上がってくる段階で、今、在宅の医療的ケア児は、そういうステーションと、既にもう契約して幼児期からケアを受けている方が多いので、担当されている所と市が契約して、その慣れた方が入るということであれば混乱もないし、いいのかなという気がしますけどね。

山城教育長 この9番については、本質的な課題の対応に向けて、今回、新規でマネジメントして行くということになっています。山城達彦委員、お願いします。

山城委員 1ページの集計表の見方なんですけれども、ここに記載されている数字は事業の数ということでよろしいですか。

石川課長 はい。

山城委員 そうすると7番、学校教育課は、教育長、部長、課長とありますけど、これらの事業は重複してないということよろしいですか。5つの別の事業ということですか。

石川課長 別々の事業です。

山城委員 市民スポーツ課なんですけど、課長マネジメントがなくて部長マネジメントがあるというのが、これは、どういう考え方なんですか。

山城教育長 総務課 新里主査、どうぞ。

新里主査 市民スポーツ課の主要事業、健康ウォーキング推進事業、これは、前年度のコロナの関係で中止したこともありまして、これまで、前年度までは課長マネジメントだっ

たんですけれども、今回、部長マネジメントに引き上げて、マネジメントして行こうということです。

山城教育長 生涯学習部 小嶺部長、補足お願いします。

小嶺部長 部長マネジメントですが関りがいろいろございます。おのずと課長がマネジメントと一緒にやっていかないと行けないので。最初に学校教育課で1、1、3で重複がないんですかというのは、そういうことを意味しているかと思います。市民スポーツ課が、課長がマネジメントするのがないということではなくて、部長マネジメントの中に課長も一緒に加わって居ます。只、数字上ではゼロになります。そう、ご理解いただきたいと思います。

山城教育長 山城委員、どうぞ。

山城委員 役職が上がって行くと重要な事業というふうに考えて良いですか。分かりました。

山城教育長 生涯学習部 小嶺部長、どうぞ。

小嶺部長 特に、今回、上げているのはですね、過去2年間、特に開催が出来なくてですね。新たな視点でやって行かなければいけないと。歳入となるような民間企業からの協賛金の支援も、かなり厳しい状況になりますので、工夫を凝らしたことをしていないと、中々、出来ないということになりますので、少し、上げてですね、今回は3年ぶりの大会をやって行こうとなっています。

山城委員 分かりました。

山城教育長 よろしいですか。ほか、ございますか。二木委員、お願いします。

二木委員 ちょっと細くなるかも知れないんですけど、9ページの資料がありますけれど、課長マネジメント一覧表、10番、不登校対策と11番、学習支援室の取り組み。どちらも教育相談課で、よく私達の患者さんが行っている所の名前が出てくるんです。はりゆん、あけもどろ、きら星、むぎほ、ていんばう。最初、私、20年前くらいにここに来た頃には、あけもどろしか聞かなかったんですけど、徐々に増えてきたと、それだけ対象児が増えているんだらうかと、それで、それに応じて教室を設けてくれているのかなと思って、有難く思っているんですけど対象がやっぱり違うんですか。ちょっと細かいかなと思うんですが、何か月しか利用できないんですということで、何か、嘆いている親御さんとかあって、ちょっと、その辺を詳しく分からなくて、どうなのか。今、ここでお話が出来る方がおられるのかどうか分からないんですけど、大まかな所だけでも、ちょっと答えていただけたらと思います。

山城教育長 総務課で大丈夫ですか。支援室の対象となる子ども達のことですが、学校教育部 名嘉原部長、お願いします。

名嘉原部長 まず対象となる児童生徒も違いますし支援の内容も違って来るんですね、その事業に応じて。きら星は、非行系・問題行動での児童生徒の対応、あけもどろは、心因での不登校などの児童生徒の対応。或いは、はりゆんは相談業務ですね、保護者も含め

ての。ていんばうは、学習の支援。そういう対象の児童生徒も違いますし、支援する内容も違って来るんですね。また、期間については、本来は学校に行かしたいんだけど、それが難しいので期間を決めて、そこで支援をしつつ学校復帰を目指して行くということで、多分、期間が決まっているということだと思います。

山城教育長 二木委員、どうですか。

二木委員 多分、そうなんだろうとは思っていましたが、何か、あまり知られていないことなんで、名前は、時々、可愛い名前がいっぱいつけているんですけど。

名嘉原部長 期間は、一応決めてはいるんですけども、支援が継続して必要な場合にはまた継続して支援ということになっていると思います。

本仲委員 本当に、最初、見た時からいろいろあるなという感じですね。

二木委員 「むぎほ」とか言うと、小っちゃい子なのかなって思ったりしていましたけれど。今年は、まだ始まらないそうですとか言って、結局、家にこもっている子とか何人か居まして、どういう仕組みになっているのかなと。教育相談課の方が詳しいのかなと思います。

山城教育長 これは機会を見て、教育委員の皆さんに、又、勉強会みたいところを企画していただけたら良いかなと思います。ありがとうございました。ほか、どうでしょうか。それでは報告1「令和4年度教育行政マネジメント事務事業の指定について」は、これにて終了いたします。ありがとうございました。

それでは続けて参ります。報告2「第3次教育振興基本計画に係る組織目標について(文化財課関係分)」の説明を、市民文化部、お願いします。

大城課長 市民文化部 文化財課の大城と申します。本来なら、部長が報告する予定でしたが、日程の都合がありまして、私のほうから報告させていただきます。報告2「第3次教育振興基本計画に係る組織目標について(文化財課関係分)」について、別紙のとおり報告いたします。報告理由といたしまして、第3次教育振興基本計画(文化財課関係分)の組織目標について、那覇市目標管理制度の書式を活用して報告いたします。詳細について、令和4年度の文化財課組織目標のうち、第3次那覇市教育振興基本計画に関する2つの組織目標について、ご説明いたします。

市長部局では組織目標管理制度を導入しており、お手元に配布いたしました資料は、組織目標を管理するシートでございます。まず組織目標の1つ目「収蔵庫の確保及びあり方の検討」でございます。達成水準は南納骨堂の改修及び移転を終了するとしております。この目標は令和3年度、未達成となり繰り越しとなった事業でございます。令和3年度は関係部署との調整に時間を要したことにより、年度内に終了が見込めず、今年度に繰り越しとなったためでございます。達成水準につきましては、改修工事の設計を8月末を目途に行い、改修工事を2月末、移転作業を3月末として、余裕を持った日程になっております。現在の進捗状況は、改修工事の設計を行っている状況

です。

次に、壺屋焼物博物館展示室環境整備の実施でございます。達成水準は、映像解説及び映像シアターの制作としております。達成手段は、映像解説及び映像シアターの制作について、課題整理など仕様をかためプロポーザルを行う等の実施手法を検討し発注する。作業工程などスケジュール管理や発注業者と調整を密に行うとしております。本事業の目的は壺屋焼物博物館の常設展示の多言語化及びユニバーサルデザイン環境を高め、ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化するために音声・映像等を活用した施設環境を整備することを目的にしています。事業は令和4年から6年を予定しております。以上が令和4年度の文化財課の組織目標の報告でございます。ご審議、よろしくお願いします。

山城教育長 ありがとうございます。ただいま文化財課から説明がありました。この件に関して、何か、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。本仲委員、お願いします。

本仲委員 ちょっと教えてください。この南納骨堂と言うんですか。これ、場所は何処にあるんですか。

大城課長 識名霊園の中にある納骨堂です。だいたい前に建てられているものなんですけど、そこが新しく建て替えをしているので収容が終わりましたので、新しい所に全部移って。そこは今もう、納骨堂としては終了して。

本仲委員 要するに老朽化して、改修する必要があるという意味ですか。

大城課長 昔のモノを取り壊す予定だった所ですね、埋蔵文化財の収蔵庫として利用するという事で、改修をする予定となっております。

本仲委員 これ、南納骨堂と言うんですか。

大城課長 南納骨堂という名前になっております。

山城教育長 よろしいですか。二木委員、どうぞ。

二木委員 南納骨堂ですか。首里城、尚家、これはどういった。

大城課長 南納骨堂は、今までは一般の方の遺骨を収容していたんですけれども、それは別の所へ収容が変更になりまして、埋蔵文化財、発掘で出てきた遺物を、そちらに移すということです。今は、旧那覇市民会館のほうに置いてあるんですけれども、こちらが取り壊しになるものですから、そこから移すという話となっております。

山城教育長 何か、補足説明がありますか。

仲宗根副部長 こちら南納骨堂という所は、お骨をお墓に入れる前に、いったんお預かりしている所がございます。新しく共同墓を作りましたので、そういった、一時お預かりをしているものは、お骨を移す作業がすすんできた訳ですね。一部は、まだ個人の自分でお墓を作って、そこに持って行くのが残っていたんですけれども、この方々が自分でお墓を作るのか、若しくは共同墓の中に入れるとか、その方の判断があつて、若しくは、ちょっとお金のことで、しばらく待つてなどがあつて少し残っていたんですね。もと

もとは取り壊しとして行く予定だったんですけども、埋蔵文化財の収蔵場所が足りなくて、一旦は取り壊す予定だったのを、そのまま残して、環境部から市民文化部のほうに、この施設を移管して中の補強工事をやって、そこを収蔵庫として、今、使っ
て行こうということになっております。

山城教育長 よろしいでしょうか。二木委員、どうぞ。

二木委員 前提がね。よく分からないまま説明されたので、私は識名園という名前から、直ぐに、尚家の埋蔵文化物らしいと思ったのですが、そうではなくて、一般の方々の、最近、亡くなったりした方のお骨を、一旦、南納骨堂に預けていたというわけですね。識名園ではなく識名霊園。識名園が文化財と、どう関係しているのかと思って。

山城教育長 文化財の保管庫として利用する準備をすすめているということですね。ありがとうございます。ほか、よろしいでしょうか。それでは報告2「第3次教育振興基本計画に係る組織目標について(文化財課関係分)」については、以上を持って終了いたします。ありがとうございました。

それでは、ここで会議の非公開について諮りたいと思います。報告3は人事に関する案件のため、非公開とすることが適当であると思われます。報告3を非公開としてよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

山城教育長 異議なしとのことですので、それでは非公開といたします。関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

～ 非公開 ～

山城教育長 非公開を解きます。それでは以上を持ちまして、令和4年度第6回教育委員会会議(定例会)を終了いたします。お疲れ様でした。

案件の審議結果

議案第7号	那覇市教育事務点検評価委員会への諮問について	原案どおり可決
-------	------------------------	---------